

令和 4 年 度

六ヶ所村まちづくり事業

事業実績報告資料

六ヶ所村まちづくり協議会

1. 産業振興助成事業

番号	事業名：エネルギー事情を次世代と共に学ぶ交流事業
1	実施主体：エネルギーを考える未来塾
[目的]	県内外の学生と共にエネルギー施設を見学し、県内の大学教授の講演や講義を聞き、次世代を担う大学生にエネルギー事情を学ぶ場を提供し、エネルギーの村のPRにつなげる。また、今後の未来塾の活動に役立てる。
[内容]	エネルギーに関する交流事業の開催（講演会・演奏会、講演内容についての意見交換会を大学教授・大学生・未来塾生をそれぞれ含むグループに分けて実施。）
[実施方法等]	講師に薬学博士の笹川澄子氏を招へい、演奏には、講師を含む金子眞知子氏、内田勝彦氏、コールスワニーに依頼。参加する大学生を募り、9月25日(日)に開催。
[実施効果等]	県内外6大学の学生たちとエネルギーに関する講演会及び演奏会を開催し、講演後にワークショップを行い、学生同士の交流と未来塾生との交流を深めながら、エネルギー事情を学んでもらう場を提供でき、次世代を担う若者の人材育成に貢献したと実感している。
[報告写真]	

番号	事業名：サマーレクリエーション
2	実施主体：倉内子ども会育成会
[目的]	子ども会の行事を通じて、親子で参加することにより、子供は楽しく学び体験することができ、子供を通じて親同士の交流の場となり、地域住民が住んでいたいと思える満足度の高い地域づくりにつなげる。また、水難事故防止のために親子でできること、地域でできることを考える。
[内容]	①親子で二大半島巡りツアー(バス移動中に、ガイドから下北及び津軽半島の位置や県の地理的特色の説明を聞く。フェリーの安全な乗り方等について学習。)
[実施方法等]	平沼子ども会と当団体による合同実施で行い、六ヶ所村立南小学校協力のもと、参加者を募集。ツアーの手配は、業者に委託。
[実施効果等]	実際に、陸奥湾をフェリーで横断し、海上から青森県の位置関係や地理的特色を学び理解することができた。また、子ども会の行事を通じての久々の団体行動では、親子や兄弟、友達と交流するなど、楽しく学び体験する良い機会となり、地域づくりに貢献した。(天候の影響でフェリーでの海難事故防止見学は中止となった。)
[報告写真]	

番号 3	事業名：六ヶ所オープンウォータースイミング大会の開催 実施主体：六ヶ所村オープンウォータースイミング実行委員会
[目 的]	自然の海や湖、川等で行われるオープンウォータースイミング大会を六ヶ所村の海で実施し、競技の普及、発展につなげるとともに、大会を開催することにより、訪れた大会関係者や参加者の方々に、村の魅力を実感してもらい、観光振興の促進に寄与する。
[内 容]	オープンウォータースイミング大会の開催(令和4年度はテスト大会。競技コースは、200m(体験クラス)、500m、1,000m～3,000mに分けて実施。)
[実施方法等]	8月11日(祝木)に、六ヶ所村尾駁地区船溜まり水域で大会の実施。 ライフセーバー、ブイの設置等は、ライフセーバーの業者、漁業関係者に委託。
[実施効果等]	参加者から、泳ぎやすいコースであったこと、来年も是非参加したいという意見を頂戴するなど、オープンウォータースイミングの広報と普及に寄与できた。また、参加賞で六ヶ所村産品を贈呈したことにより、大会終了後には、参加者やその家族が村の施設に立ち寄っていたことから、観光振興にも寄与できたと実感している。
[報 告 写 真]	

番号 4	事業名：BLUE GREEN CAMP FESTIVAL 2022 実施主体：BLUE GREEN CAMP FESTIVAL実行委員会
[目 的]	幅広い世代が気軽に楽しめる音楽イベントを開催し、六ヶ所村の観光産業を広く発信し、経済の回復・発展に貢献し地域活性化につなげ、「新たな音楽イベントの取組み」の方向で新たなニーズとこれまでとは違うアプローチで村のPRに寄与する。
[内 容]	音楽イベント等の開催(音楽ライブの開催、キャンプ、フードエリア、スポーツアトラクション、ワークショップエリアの出店。)
[実施方法等]	9月3日(土)、4日(日)に、大石総合運動公園でイベントの開催。 当日は、ボランティアの方の協力を得て実施。
[実施効果等]	来場者の多くは、尾駁地区の商業施設や六旬館の利用、当イベントを通じた村への経済効果も伸びていることが確認できたので、本フェスの目的である経済の回復・発展に貢献し地域活性化につなげることができた。
[報 告 写 真]	

番号	事業名：レイクタウンにぎわい創出調査研究事業
5	実施主体：六ヶ所村商工会
[目的]	尾駈レイクタウンエリアを拠点とした「にぎわい」「ふれあい」が生まれる新たな街づくりを目指し「(仮称)レイクタウンにぎわい広場」の整備を検討し、村へ提案する。
[内容]	①実証実験(スワニー前イベント広場に屋外テントの設置、イベント開催。)②情報収集・調査研究(先進地視察研修の実施。)③委員会・まとめ検討会
[実施方法等]	実証実験は一部委託。埼玉県深谷市の商工会協力のもと、「深谷宿屋台村ふっかちゃん横丁」を視察。学識経験者を講師として迎え、委員会を4回実施。
[実施効果等]	出店事業者を募集した際、問合せはあったものの、コロナ禍のため新規事業者の確保はできなかった。7月25日から8月31日の間に開催した「レイクタウンにぎわい横丁」では、期間中イベントを4回開催し、多くの来場者でにぎわいを見せ、一定の成功を収めることができた。
[報告写真]	

番号	事業名：屋敷冷泉保養施設整備に関する事業
6	実施主体：泊漁業協同組合
[目的]	泊地区の屋敷山にある名湯は、昔から住民の湯治場として利用されているが、保養施設の老朽化により施設内部等に損傷が見られ危険なことから、利用者が安全に利用するためにも整備美化する。
[内容]	屋敷保養所修繕工事(外部ポンプ小屋の建設、床の張り直し、天井・壁の張替え。)
[実施方法等]	業者に委託し、6月から7月に修繕を実施。
[実施効果等]	天井張替え・床の張り直しで保養所を修繕したことにより、地域住民の憩いの場所として安心して利用できるようになった。 今後、県へ文化財の届出も検討中であり様々なPRをしていきたい。
[報告写真]	

番号 7	事業名：二又地区環境整備事業 実施主体：二又自治会
[目的]	道路沿いの花壇を花で整備することで、地域の一体感を通行者に感じてもらい、地区全体で交通安全や環境維持等に真摯に取り組んでいることの情報発信できる効果を見込む。
[内容]	環境整備事業(花苗の購入、花壇への植栽。)
[実施方法等]	自治会による直営。 6月に花壇の草取りをし、花苗の植栽を実施。
[実施効果等]	環境整備を通じて、通勤者等に村のより良い生活環境を印象付けるなど、花植えを通じて地域コミュニティの場となるなど、住民同士が気兼ねなく声を掛け合える、安心安全な環境作りに寄与した。
[報告写真]	

番号 8	事業名：環境美化植栽事業 実施主体：千歳平自治会
[目的]	環境美化の共同作業を通して、地域住民間のつながりをより一層深めることを目的とする。
[内容]	環境美化植栽事業(千歳平自治会内の村道中央植樹帯に花植えを行う。)
[実施方法等]	自治会による直営。 5月に植樹帯の草取り等を行い、6月に花苗購入後植付け。
[実施効果等]	環境美化作業には、たくさん住民が参加し、フラワーロードの花植えを予定どおり実施することができ、作業を通じて地域住民とのつながりがより一層深まった。
[報告写真]	

番号	事業名：石川環境整備事業
9	実施主体：石川自治会
[目的]	花壇の草刈りや植栽作業を中心に、石川地区内の景観美化活動を行う。住民間の共同作業の場を通じて、コミュニケーションを増やし、良好な地域作りの向上に寄与する。
[内容]	環境整備事業(花苗の植栽(1回)、花壇の草取り。)
[実施方法等]	石川自治会の会員による奉仕作業。 期間は、5月～8月。
[実施効果等]	道路沿いの花壇に花を植えたことで、地域の景観美化に貢献するとともに、久しぶりに集まった地域住民同士での会話に花が咲き、住民のコミュニケーションが図れ、より良い活動の一環となった。
[報告写真]	

番号	事業名：尾駈レイクタウン環境整備事業
10	実施主体：尾駈レイクタウン自治会
[目的]	歩道等の美観を保つことにより、事業所社員及び住民に心の安らぎを与えるとともに、国内外の来訪者に対しエネルギー先端産業立地地区にふさわしい街区環境を示すことができる。
[内容]	環境整備美化に関する事業(花の植栽、除草、歩道等の清掃を行う。)
[実施方法等]	造園専門業者へ委託。 期間は、5月～10月。
[実施効果等]	村の新街区である通りの美観を保つことにより、観光客等の来訪者に対し、エネルギー先端産業立地地区にふさわしい街区を示すことに寄与した。
[報告写真]	

番号	事業名：環境整備事業
11	実施主体：新城平自治会
[目的]	環境整備を通して地域の親睦と融和を図り、さらには、四季を通して道行く人々へ地域の思いを伝えるため、「花がいっぱい心のふるさと新城平」をテーマに、いつまでも「和を持って尊し」を掲げ、地域づくりに徹する。
[内容]	①花植及び花壇周辺整備(花苗植栽2回、草取り。バス停留所、案内MAPの木材に防腐塗料材を塗る。)②立体アート看板整備(チェンソーアート紹介看板の設置。)
[実施方法等]	自治会による直営。 4月から9月に、花壇の草取り、花苗の植栽、立て看板制作・設置。
[実施効果等]	花壇整備の実施と村の花鳥木をモチーフにした立体アートの脇へ立て看板(モニュメントの説明)を設置することにより、道行く多くの人々により深い印象を与え、景観の美化が維持され、住民の交流が深まるとともに、訪れる人々が癒される里づくりが出来た。
[報告写真]	

番号	事業名：泊地区環境整備事業
12	実施主体：泊婦人会
[目的]	通行者の多い場所に花の植栽をし、美しい景観を保つことで、通行する人々に癒しを与えることに寄与する。 また、作業を通じて、婦人会の交流の場をつくることを目的とする。
[内容]	花苗の植栽(各場所に花苗の植栽(6箇所)、花壇、プランターに花植え。)
[実施方法等]	泊婦人会による直営。 期間は、5月～11月。
[実施効果等]	植栽をしたことで、泊地区の美しい景観を保つことができ通行する人々に癒しを与えることに寄与した。 また、会員とのコミュニケーションを図ることができ、地域交流につながられた。
[報告写真]	

番号	事業名：環境美化整備事業
13	実施主体：尾駸町内会
[目的] 花壇の花植栽を実施し環境美化を図り地域活性化に寄与する。	
[内容] 環境美化整備事業(花の植栽、草取り等を実施し維持管理する。)	
[実施方法等] 町内会による直営。 6月に花壇耕運機掛け、花植栽。8月と9月に草取りの実施。	
[実施効果等] 県道六ヶ所横浜線沿いに設置した花壇に花の植栽を実施し、景観の美化維持を図り、地域の憩いの場所となったことで地域活性化に貢献した。	
[報告写真]	
	

番号	事業名：集会所及び国道周辺の花壇整備
14	実施主体：出戸自治会
[目的] 国道沿い及び集会所駐車場の環境保護と景観美化維持を目的とし、地域活性化に寄与する。	
[内容] ①花壇整備(出戸集会所周辺の花壇に花植え、花壇整備(草刈等)。) ②紫陽花の植樹(集会所駐車場に紫陽花の植栽。)	
[実施方法等] 自治会による直営。 6月に花壇整備、9月に紫陽花植栽。	
[実施効果等] 花壇整備及び紫陽花の植栽活動を通して、植樹後においても環境美化はもとより住民が連絡し合い花壇の手入れを行うなど地域の重要なコミュニティ形成に貢献した。	
[報告写真]	
	

2. 協議会自主事業

番号 1	事業名：ながいも焼酎もろみ残渣の有効利用に関する研究支援事業
[目的]	当村の特産品である、ながいも焼酎「六趣」の蒸留時に排出されるもろみ残渣を使用した新たな商品を発掘するための研究を支援することを目的とする。
[内容]	①活性成分特定試験(膵リパーゼ阻害成分の検討)の支援 ②機能性成分生理活性試験(その他の生理活性)の支援
[実施方法等]	6月から翌年1月の間に実施した、弘前大学農学生命科学部岩井教授の研究に係る経費を支援。
[実施効果等]	村独自の地域資源を活用した、新商品を開発するための研究を支援し、地域ブランドづくりの推進に寄与した。
[報告写真]	

番号 2	事業名：尾駈・鷹架沿道周辺植栽事業
[目的]	六ヶ所村の環境美化を形成するための一環として、沿道3箇所の花壇整備及び花卉の植栽の管理等を行い、良好な状態を維持することを目的とする。
[内容]	①花苗の植栽、草取り等の花壇整備を実施。 ②紫陽花の植栽
[実施方法等]	4月から10月に、4箇所の花壇整備を実施。(場所:郷土館バス停留所前、(株)日本原燃信号前、六ヶ所商工業協同組合前、ろっかぽっか入口)
[実施効果等]	村の環境美化を形成するための一環として、沿道4箇所の花壇整備及び花卉の植栽の管理等を行い、景観美化に寄与した。
[報告写真]	

番号3 事業名：横浜六ヶ所線通沿い花壇修繕事業

[目的] 花壇を設置してから10年が経過し、木材が腐朽し人に被害を与える危険性があることから、安心・安全に環境美化事業を行っていくために修繕を行う。

[内容] ①花壇修繕の実施(16箇所)。
②木箱(イス)の撤去。

[実施方法等] 5月から6月に、尾駁レイクサイドパーク周辺花壇の修繕を実施。

[実施効果等] 花壇の修繕を行い、地域団体が安心・安全に植栽活動に取り組める環境に整え、環境美化事業の推進に寄与した。

[報告写真]



修繕前



修繕後